

平成28年度第1回事務事業評価における総括

部 局 名	下水道河川部	記入責任者	塩崎 威
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>下水道河川部の事業は、「災害応急対策活動」、「庁内共通事務」、「部内調整事務」及び「他課からの受託事務」を除き、58事業です。</p> <p>このうち、41事業をS評価、16事業をA評価、1事業をB評価としています。このことから、下水道河川部の各事業については、概ね順調に進捗していると言えます。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>下水道河川建設課の「合流式下水道緊急改善（第二工区）事業」について、B評価としています。</p> <p>当該事業については、過年度に工事は完了していますが、事後評価委託において履行期間内に法定検査の条件に合致する降雨が無く、事業効果確認に用いるデータの取得ができなかったため、B評価としたものです。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>下水道河川部の各事業については、概ね順調に実施できています。</p> <p>全国では大雨や地震等による災害が発生しており、本市においても市民の安全・安心を確保するため、雨水対策や下水道施設の地震対策が求められています。</p> <p>雨水対策については、幹線整備及び面整備の推進による雨水排除能力の拡大に加えて、貯留・浸透などの流出抑制対策も含めた方策を引き続き研究するとともに、事業を推進する上で経済性を踏まえた施工方法を検討する等、更なる事業の効率化とコストの縮減を図ります。</p> <p>老朽化している下水道施設についても、限られた財源の中で耐震化、長寿命化における改築更新を効率的に行い、施設の維持管理を実施して参ります。</p>			